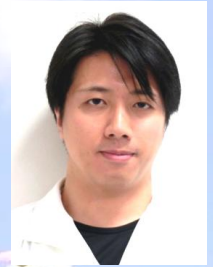


目次	・糖尿病・代謝・内分泌内科の紹介	・・・ 1	・自動体外式除細動器について	・・・ 5
	・News	・・・ 2	・レントゲン博士について	・・・ 6
	・部署紹介①	・・・ 3	・新入職員紹介、編集後記	・・・ 7
	・部署紹介②	・・・ 4	・外来診療表	・・・ 8

糖尿病・代謝・内分泌内科の紹介

代謝・内分泌内科 信岡 謙太郎



平成27年4月より菊池郡市医師会立病院へ着任となりました信岡謙太郎です。

昨年までは熊本大学医学部附属病院で勤務しておりました。今後は菊池地域での医療を皆様と一緒に携わらせて頂くことになりました。末永くよろしくお願い申し上げます。

さて、糖尿病・代謝・内分泌内科についてですが当科では糖尿病、高脂血症、肥満症に加えまして原発性アルドステロン症のような内分泌性高血圧、その他、甲状腺・下垂体・副腎疾患などのホルモンの病気の診療を行っております。食習慣の変化と高齢化に伴い、生活習慣病に罹患されている方が増えております。糖尿病につきましても、日本人の糖尿病はBMI25未満の糖尿病患者が約4割と肥満型の糖尿病が大半を占める欧米の糖尿病患者とは異なる分布を呈していましたが、昨今、若年肥満の糖尿病が増えてきております。今後の糖尿病治療は経口血糖降下薬の多様化と相まって、2型糖尿病でも、肥満に伴う糖尿病、インスリン分泌低下に伴う糖尿病、高齢者糖尿病など糖尿病の病態の違いに伴う薬剤の使い分けが必要となってまいりました。また、今後もインスリンのバイオシミラー(バイオ後発品)や3倍製剤(100単位/ml→300単位/mlになり、インスリン製剤1本当当たりの総インスリン量が3倍になることで1回50単位など注射量が多い患者の1回注射量が少なく済むようになる製剤)やグルカゴン受容体拮抗薬などの新たな薬剤の開発も進んでおります。増加する糖尿病患者と多様化する糖尿病治療の中で我々代謝内科医だけではなく、多くの先生方にも協力頂き、個々の治療に適した薬剤選択や薬剤選択

の際の患者モデルの提供など分かりやすい糖尿病治療の情報提供をさせて頂くことで、菊池地域での糖尿病治療に貢献できればと考えております。

当院外来では血糖コントロールに加えまして、糖尿病合併症や肥満、高血圧、高脂血症、動脈硬化症の診断・治療を行っております。血液検査だけでなく、頸部血管エコーでの動脈硬化の評価、腹部CTによる内蔵肥満の評価、末梢神経障害の評価(R-R ECG CV)などの検査も行っております。経口血糖降下薬やインスリン治療だけでなく、管理栄養士による栄養相談や糖尿病足病変の発症・進展予防を目的としたフットケア外来など患者さん個々のニーズに合わせて様々な検査・治療を行っております。

入院に関しましては、検査入院(24時間持続血糖測定検査、睡眠時無呼吸症候群の検査)や治療入院(糖尿病教育、食事療法・運動療法、薬物治療を集約的に行う入院)、緊急入院(極端な高血糖やケトアシドーシスなど危険な状態にある場合の緊急治療)などを行っております。

また、糖尿病以外にも高血圧、脂質異常、ホルモンの異常(甲状腺・副腎疾患など)、電解質異常(高Na、低Na、高Caなど)に関しましては同様に外来・入院加療を行っております。

糖尿病・代謝・内分泌内科の診療内容を紹介させて頂きました。

今後も菊池地域の医療に貢献すべく、かかりつけ医の先生方と連携を取りながら、地域の皆様に信頼されるよう、日々の診療に邁進いたします。

今後よろしくお願い申し上げます。

News

2015/7/7(火)~7/9(木)

高校生インターンシップ を実施しました



菊池郡市医師会立病院では、看護部に、7月7日から7月9日までの3日間、熊本県立菊池高等学校のインターンシップ実習生6名を受入れました。

病棟では、まず学生同士で車椅子を押して適切な速度を検討する等の患者体験をしていただきました。また実際に看護師と一緒に患者さんの車椅子を押して、屋上庭園で散歩をしたり、体の向きを変える(体位変換)手伝いをしたり、入浴介助等多くの経験ができたようです。高校生の皆さんの笑顔やコミュニケーションを通して患者様も笑顔になられ、患者様のみならずスタッフにとっても活気あふれる3日間でした。一人でも多くの学生さんが、この経験を通して看護師になりたいと思っていただければ幸いです。

<指導者の感想>

- ・看護師と行動を共にし、ケアを見学したり、患者さんに接する場面では、自然に手を差し伸べている時があり、スタッフも感心していました。
- ・礼儀正しく、大きな声で挨拶をしたり、患者さんやスタッフとのコミュニケーションも取れており、好印象でした。
- ・初日は緊張もあって表情は硬いと感じていましたが、その後は笑顔で気持ち良い挨拶ができて、患者さんもスタッフも元気をもらう事ができました。



<インターンシップを終えた学生さん方の感想>

ずっとここでいろいろな体験をしたいというのが本音です。患者さんと看護師ともせっかく仲良くなれたのに、離れるなんて寂しいです。患者さんの状態も気になります。これから夢に向かって早く実現できるよう頑張っていきたいです。

看護師の仕事をいろいろ体験できてよかったし、看護師になりたいという気持ちが強くなりました。看護師になれるよう頑張ります。

看護師になれたら、初心を忘れず患者さんに安心を届けられる笑顔が素敵な看護師になれるよう日々頑張ります。

看護師に質問したら色々教えて下さったので参考になりました。インターンシップでのご指導ありがとうございました。

看護師になりたいという気持ちが高まりました。3日間ありがとうございました。

一番大切なものは「小さな心がけ」かなと思いました。少しのことで、患者さんの危険を防いだりすることができるのですごいなと思いました。またコミュニケーションをとるのは、看護師として大事だと改めて実感しました。

部署紹介①

外 来



外来は、病院理念である「地域の皆様に愛され、信頼される病院をめざします」に向かって、医療・看護の質向上に向けて努力しています。

外来の診療科目は、代謝・内分泌内科、循環器内科、腎臓内科、消化器内科、神経内科等の内科を専門としており、中でも糖尿病の患者さまが多く平成25年糖尿病センターの立ち上げと共に、予防や専門的ケアの充実を図るために、糖尿病教室、フットケア外来などに力を入れています。外来は、医師10名・看護師10名・医療クーク4名で、紹介患者の外来、内視鏡検査、また、救急告示病院として、救急搬送も、速やかな対応を実施しています。

私達は外来サービス向上の一環として、限られた時間の中で「栄養について」「内服薬について」の説明や、困っていることはないか等の声掛けを積極的に行っています。

また、医療クークや放射線科並びに検査科などとの連携のもと、患者さまの安心感が得られるような環境作りに努めているところです。

外来診療とともに、次の役割も担っています。

- ・ 予防接種(インフルエンザ、肺炎球菌ワクチンなど)
- ・ ペースメーカー点検
- ・ フットケア外来
- ・ 糖尿病患者会(りんどう会)支援
- ・ 特別養護老人ホーム回診
- ・ 被爆者定期健診
- ・ 糖尿病教室
- ・ 世界糖尿病デーイベント
- ・ 学校心臓病検診
- ・ 内視鏡検査



▲ フットケア外来



▲ 糖尿病患者会



▲ 糖尿病教室



▲ 血圧測定

部署紹介②

透析センター

透析センターでは、医師2名と看護師・臨床工学技士・ケアワーカー30名のスタッフで、患者さまの医療安全と治療効果を第一に考えています。今回導入した最新の透析機器(自動回収装置・透析支援システムフィチャーネット)は、透析中の安全管理の強化に役立っています。又、透析に関わるスタッフ間の連携に力点を置き、患者さまの安全と共に安心が提供できる様に努めています。



当院の透析センターは維持透析の患者さまが多く合併症の予防が重要な位置を占めています。中でも半数を占める糖尿病の患者さまの合併症の予防や指導がケアのポイントとなります。

ケアの質を上げるために、スペシャリストの養成に力を入れ、糖尿病療養指導士が4名育ちました。その看護師を中心にフットケアや食事療法など、糖尿病の合併症を持つ患者さまが、ご自身で自己管理が出来るように支援しています。

併せて、1日に4～5時間かかる治療時間を、快適に過ごすことができ、より安全で安心な透析を提供できるように努めています。

ベッド数 48床 患者数 120～130名

(月水金) 3クール 朝 (8時10分～)
 昼 (14時～)
 夜間 (17時～)

(火木土) 1クール 朝のみ (8時20分～)



血液透析・血液濾過透析・腹膜透析の管理

自 動 体 外 式

除 細 動 器 について



臨床工学科

「危険な心停止」

心停止に至ると心臓から全身に血液が送られなくなり、回復しなければ死に至ります。血液が全身に送られない時間が長くなるほど、死亡と後遺症のリスクが高まります。

「AEDは誰でも使える」

平成15年9月に構造改革特別区域推進本部の決定として、心停止者に対し、非医療従事者がAEDを用いても医療法違反にはならないものとするの方針を政府が明らかにしました。これにより、緊急時には一般市民もAEDを使用できるようになり、心停止者の救命率をあげることが期待できるようになりました。

「自分達に出来ること」

平成26年版消防白書によると、119番通報を受けてから対象患者を病院に搬送するまでの全国平均時間は8分30秒です。除細動の時間が1分経過するごとに、生存率は約7～10%低下します。救急車の到着を待つだけでなく近くにいる一般市民が一刻も早くAEDを使用し、電気ショックを実施することが重要となります。

「操作は同じ」

AEDにも、様々なモデルがあります。操作の基本は同じになっており、以下の4つの共通した手順があります。

電源を入れるとAEDより音声ガイダンスが出されるので、それに従い手順を実行します。

1. AEDの電源を入れる。
2. 傷病者の胸をはだけさせAEDパッドを貼る。
3. 傷病者から離れてAEDに心リズムを解析させる。
4. ショックが必要な場合には、傷病者から離れるようにとの指示がある。



「臨床工学科として」

当院でも、今までは1階の外來に、1台のみ設置しておりました。しかし、この度、新規に新しい機種のアEDを4台購入し各階に1台ずつ設置しています。大切な機器ではありますが、設置すればいいというものではなく日々のメンテナンスも必要です。そこで日常点検や定期点検を工学技士が行う事でいつでも使用出来るようにしています。



レントゲン博士 について

放射線科

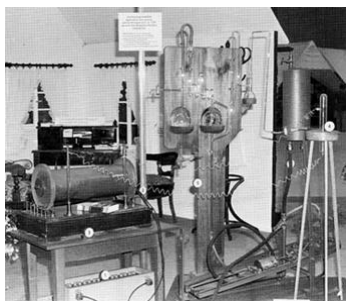
今年2015年でエックス線が発見されて120年になります。

1895年、ドイツの物理学者であるレントゲン博士はガラス管の中の気圧を低くしてその中に高い電圧の電流を流す実験をしていました。そのとき、黒い紙でしっかり被っているガラスの近くにあった蛍光板が発光していることに気が付きました。



そして、そこに手を重ねてみると、骨の形や仕組みがたいへんよく見えたのです。そこで、この不思議な光線をエックス線と名付けました。

みなさんがよく病院などで耳にする「レントゲン」という言葉は、放射線を世界で一番最初に見つけた人の名前なのです。



X線発見当時の実験装置



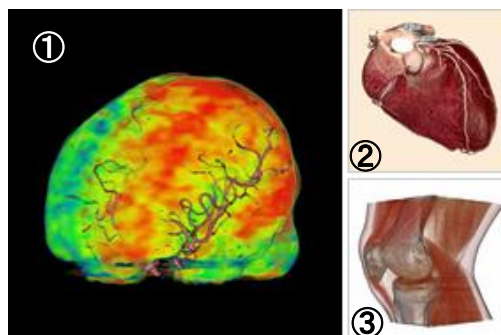
◀1895年、レントゲン博士がX線の発見を証明するために、奥さんの手をX線撮影しました。これが世界最初のX線写真とされています。

レントゲン博士は1901年**第一回ノーベル物理学賞**を受賞しました。そして、その賞金の全額を大学に寄付しました。博士はノーベル賞以外のすべての賞を断り、エックス線に関する一切の特許を取得しませんでした。エックス線が人類のために広く利用されることを望んだのです。

現在ではCTなどの画像撮影だけでなく、医療分野以外（例えば、空港の手荷物検査など）でもエックス線は利用されています。



当院のX線CT装置(320列)



X線CT画像(①脳 ②心臓 ③膝関節)

Introduction of new staff

新入職員紹介 (8・9月付)



薬剤助手
西山 美穂

趣味・特技 バレーボール
スポーツ観戦

調剤薬局に10年程勤務しております。病院勤務は初めてになります。精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



総務課
金田 由里子

趣味・特技 バレーボール
読書

何事にも今まで以上に自覚と責任を持って取り組んで参りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



医事課
金子 未幸

趣味・特技 読書

8月より事務部医事課に入職致しました。医事業務は資格を取得して以来深く携わっておりませんが、初心にかえり、一から勉強させて頂く気持ちで日々努力していきたいと思っております。



ケアワーカー
菊池 映子

趣味・特技 映画鑑賞

定年までお世話になっておりましたが、9月より再度お世話になることになりました。いくつまで働けるか分かりませんが、もう少し頑張っていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

編集後記

今年も暑く熱中症患者のニュースをよく耳にしました。総務省消防庁によると、平成28年7月の熱中症起因による全国の救急搬送者数は2万4,567人で、調査開始以来7月の観測値としては過去最高でした。特に高齢者の方の搬送者数は増加傾向にあるようです。高齢者の方の場合、自覚症状が出にくく、気づいたら重症化していたというケースが多くあります。日頃からの水分補給やクーラー使用の声掛けが大切になってきます。

気象庁の発表では残暑も厳しいことが予想されていますので、引き続き熱中症に気をつけていきましょう。



菊池郡市医師会立病院 外来診療表

	午前/午後	月	火	水	木	金	土
総合内科	午前		信岡 謙太郎		松田 浩治		松田 浩治
糖尿病センター 代謝内分泌科	午前	矢野 智彦 古賀 荒太郎	田口 哲也 矢野 智彦	田口 哲也	信岡 謙太郎	矢野 智彦 古賀 荒太郎	田口 哲也
循環器内科	午前	予約	石坂 浩	古賀 敏	石坂 浩	熊大循環器科	古賀 敏
		新患	古賀 敏	石坂 浩	古賀 敏	熊大循環器科	石坂 浩
腎臓内科	午前					緒方 智博	
	午後		(主)植田 美紀 (副)緒方 智博				
消化器内科	午前			検査のみ (熊大 消化器科・他)	済生会 熊本病院		
	午後			検査のみ	検査のみ (済生会熊本病院)	検査のみ	
神経内科	午前			井上 泰輝 (熊大 神経内科)			
放射線科 (CT・MRI)	午前/午後	本田 伸	本田 伸	本田 伸	本田 伸	本田 伸	仙波 明子 (熊大 放射線科)

外来受付時間：午前8時30分から午前11時30分

診療時間：午前9時から午後12時

※午後の腎臓内科は予約制となります。

※検査は予約制となります。

【病院理念】

かかりつけ医の先生方と連携して、地域の皆さまに信頼され、愛される病院を目指します。

【基本方針】

- ・ チーム医療と地域連携に努めます
- ・ より良い医療の提供を目指し、研修・研鑽に努めます
- ・ 自己満足に陥ることなく、業務改善に努めます
- ・ 病院の健全な運営を目指します



一般社団法人 菊池郡市医師会

菊池郡市医師会立病院

〒861-1306 熊本県菊池市大琳寺75番地3

TEL:0968-25-2191 FAX:0968-24-5762 <http://www.kikuchi-hosp.com/>

発行責任者：病院長 矢野 智彦

